



NPO 法人

山卯三記念

2020 年

冬号

No.81

すまい・まちづくり文庫レター

文庫所蔵資料のデジタルデータベース化と

歴彩館への寄贈の準備活動の経過報告

文庫理事長 海道清信

昨年、文庫総会資料で報告させていただきましたが、数年後には所蔵資料を京都学・歴彩館に寄贈する方向で検討・協議を進めています。大枠では双方とも合意しています。

その準備の意味もあって、写真資料、ボックス資料等の内容のデータベース化を目的として、図書館振興財団に費用の助成申請をしましたが、残念ながら採択されませんでした。今年度に再度チャレンジしようと考えています。

所蔵資料のデジタルデータベース＝DDBは、かなりの部分は「アクセス」などで構築されており、文庫ホームページの検索サービスで有効に活用されています。しかし、DDBとしてはまだ不十分なので、再構築して資料の全体像を明示し、より検索・利用しやすくする必要があります。今後、運営委員会などで検討していきますが、今のところ、次のような方向を考えています。

- ・DDBには、定番ソフトである「FileMaker ファイルメーカー」を使用する。
- ・資料タイプ（画像、図、文書等）毎にDDBを作成する。すでにDDBのプロトタイプ案は作成済み。
- ・重要ボックス資料459箱：紙資料を入れている袋ごとにタイトルや内容を記入済みのテキストデータを入力する。該当資料の内容を示す冊子類の目次など何枚かのページをインデックス的にスキャンする。テキストとスキャン画像を統合したDDBを構築する。

(2ページにつづく)

目次 -Contents-

文庫所蔵資料のデジタルデータベース化と

歴彩館への寄贈の準備活動の経過報告／海道清信 1

スケッチ瞥見シリーズ⑤

「西山のハビトゥスの源」 / 松本 滋 3

日本学会議の西山卯三 / 中林 浩 4

●事務局便り、編集後記 5

評伝・西山卯三（連載四） / 広原 盛明 四一